



小田原市立下中幼稚園
令和3年3月16日

戸外に出ると穏やかな日差しに、春の訪れを感じます。いよいよ明日、卒園式を迎えます。2年間の幼稚園生活を通して、友達や教師をはじめ、いろいろな人と触れ合い、いろいろな体験をしてきました。その中で嬉しいこと楽しいことばかりでなく、たいへんなこと、悔しいこともあったことでしょう。様々な経験を重ね、その都度感じたり考えたりしながら、体だけでなく心も大きく成長し、お兄さん・お姉さんになったつき組の子どもたち。幼稚園生活で身につけたものを学校生活で大いに発揮し、伸び伸びと大きくなっていくことを願っています。

お店屋さんごっこをしました



1月から取り組んできたお店屋さんごっこは、お店の品物や建物などそれぞれ『本物のお店みたいにしたい。』という気持ちから、友達と力を合わせて準備をしてきました。それぞれお客さんとして訪れあい、クラスで楽しみましたが、最後に遊戯室にお店を引越し、下中幼稚園のみんなを招待しました。「来てくれたお客さんに何枚ずつプレゼントできるかな。」とたくさん作ったピザの数を何度も数えていたピザ屋さん。作った花をどう組み合わせたらきれいな花束になるのか考えながら作っていたお花屋さん。来てくれたお客さんに電車の説明をしたり、遊びやすいようにコースの修正をしたりしていたプラレール場の係員さんたち。『お客さんとして来てくれたさくらさんたちに楽しんでもらいたい。』という優しい気持ちが遊びに取り組む意欲につながり、頑張って準備した分、充実した1日となりました。



メニューを作って遊んでいましたが、「レストランのメニューって料理の絵があるよね。」と体験したことを思い出し、ピザの写真つきメニューに作り直しました。



さくらさんへの招待状作り。「さくらさんにもわかりやすいようにみんなのお店の絵を描こうよ。」と相手がもらったときのことを考えながら作っていました。



郵便局のATMでは、カードを入れるとお金が出てきたり、窓口で申し込むとお店でお金の代わりに使えるナナコカード、Tポイントカードを発行したりしました。



プラレール場の看板作り。お客さんにわかりやすいように文字の大きさ、内容を相談しながら作りました。

絵本の読み聞かせ



絵本の貸し出しでは、読み聞かせのご協力ありがとうございました。幼稚園でも紙芝居や絵本に触れる機会をつくってきました。これは、小学2年生の作者による小学校生活を楽しく過ごすためのアドバイスが書かれた『しょうがっこうがだいすき』という絵本です。毎日1つずつ読み聞かせ、子どもたちも「今日のお話は？」と楽しんでいました。

階段アートを作りました。最後にクラス全員で一つの作品を作り上げる良い機会となりました。明日の卒園式の際にぜひ見てください。

